

Bコース (上限 50 万円) 【提案書】

【公開】

提案名 ※25文字以内	みなとみらい 21 “船上カメラマン” プロジェクト
グループ名 ※25文字以内	ハマの海を想う会

【1】 提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

ハマの海を想う会は、「もっと遊ぼうハマの海！」をスローガンに海辺での市民活動の機会提供と人材育成、環境美化に資する活動を展開しています。みなとみらい 21 地区を主な拠点とし、環境美化活動では「横浜市港湾局 みなとみどりサポーター」として象の鼻パークの清掃活動を毎月第一土曜日に実施しています。これまで 29 回、延べ 296 名のボランティアに参加いただいています。

機会提供と人材育成活動では、小型船舶の体験乗船会(横浜市港湾局ビジターパス社会実験の一環として参加)、横浜開港祭での親子連れ等に向けた釣り教室 & キャスティングゲーム(2011-12 年の 2 回/3 日間で約 1900 名が参加)や、「都市型干潟の楽しい使い方研究チーム」による高島水際線公園モニタリングへの運営協力などを通じ、水域や水辺空間の活用および海遊びへの興味・関心の促進を図っています。

■ ホームページ <https://sites.google.com/site/hamaumi/>

【2】 助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内容
4月	会議1(開催概要作成及び協力者の確認)
5月	会議2(開催詳細計画作成及び協力者との役割・連携の確認)
6月	会議3(開催詳細計画のトライアル1、開催告知準備)
7月	会議4(開催詳細計画のトライアル2、開催告知開始)
8月	みなとみらい 21 “船上カメラマン” プロジェクト Summer 開催
9月	会議5(8月開催の反省点の確認及び修正)
10月	会議6(8月開催の反省点の確認及び修正)
11月	会議7(開催詳細計画(改善版)のトライアル1)
12月	会議8(次年度の企画案検討)
1月	会議9(次年度の企画概要立案)
2月	みなとみらい 21 “船上カメラマン” プロジェクト Winter 開催 ※カメラと写真映像の情報発信イベント CP+2014(2/13-16)の開催時期と合わせ開催。
3月	会議10(報告書作成、次年度の企画詳細立案)

【3】 助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿って記入してください。

- (1)活動の内容 (2)活動の主催者及び参加者 (3)活動を実現するための方法 (4)時期 (5)場所
 (6)当地区で活動を行う、また応募の理由 (7)活動を行うことによる当地区へのメリット(効果)
 (8)その他、特徴やアピールする点

(1) 活動の内容

みなとみらい 21“船上カメラマン”プロジェクトは、市民や横浜の観光客に向け、みなとみらい 21 地区にあるビジターズバス(棧橋)から小型船舶で出航し船上からの水域及び水辺空間の景観撮影等の機会を提供するプロジェクトです。

本プロジェクトの推進により以下の活動効果が期待されます。

- 1) 市民及び観光客等への海上からの景観提供と小型船舶乗船による非日常体験の提供。
- 2) 船上からのカメラ撮影による日常では遭遇できない景観画像情報等の獲得・収集・保存。
- 3) 参加者によるスマートフォンや SNS 活用を通じたみなとみらい 21 地区の魅力伝達の実現。
- 4) ビジターズバスの一般利用者の利用促進。
- 5) 新産業としての小型船舶活用の可能性の検証。
- 6) その他

(2)活動の主催者及び参加者

主催：ハマの海を想う会 参加者：写真撮影を趣味とする愛好家、近隣市民及び観光客。

(3)活動を実現するための方法

- 1)開催告知・参加者募集：本プロジェクトホームページ(フェスブック予定)を開設し案内(7月上旬予定)。
- 2)開催①集合：みなとみらい 21 地区のビジターズバスに集合、乗船、出航。
- 3)開催②出航：みなとみらい 21 地区周辺の水域被写体を撮影。水域被写体撮影では小型船舶の特性を活かし、汽船道・運河パーク・プロムナードや、高島水彩線公園・水彩線プロムナード等、既存の水上バスが航行しない地区を航行。小型船舶からの被写体撮影は安全とクリアな画像撮影を第一に考慮し、安全な航路、航行スピード(停泊含む)で実施。
- 4)開催③下船：みなとみらい21地区のビジターズバスに下船、解散。
- 5)開催報告①画像記録：参加者及び主催者による本プロジェクトホームページへの画像掲載、アーカイブ。
- 6)開催報告②人気投票：参加者及び本プロジェクトホームページ閲覧者によるお気に入り画像への人気投票。
- 7)開催報告③No.1 船上カメラマン発表：人気投票 No.1 画像の撮影者を「ハマの No.1 船上カメラマン」として発表。

(4)時期(予定)

- 1)8月・みなとみらい 21“船上カメラマン”プロジェクト Summer 開催
 - 2)2月・みなとみらい 21“船上カメラマン”プロジェクト Winter 開催
- ※カメラと写真映像の情報発信イベント CP+2014(2/13-16)の開催時期と合わせ開催。

5)場所

- 1)乗下船場所：ビジターズバス(象の鼻パーク棧橋、運河パーク棧橋)
- 2)その他(高島水彩線公園など)

(6)当地区で活動を行う、また応募の理由

みなとみらい21地区は、「みなと」横浜の象徴である海辺に接する公園・緑地に恵まれています。更に、ビジターズバス等のパブリックアクセスが充実しており、参加者及び運営者に高い利便の提供が可能であることを考慮し、本事業に応募いたしました。

(7)活動を行うことによる当地区へのメリット(効果)

他の地域にない異国情緒や水域・水辺空間が醸し出す被写体としての可能性・話題性の高さは、参加者が利用する SNS やブログ、メール等を通じ、広くみなとみらい 21 地区の魅力を伝達し、まちづくりの推進と観光の振興に資することが期待されます。また、小型船舶を水域及び水辺空間の景観撮影ツールとして活用する試みは、既存の水上タクシー等の船舶の新用途活用となり、これに伴う新産業創出が期待されます。

(8)その他、特徴やアピールする点

当会は、横浜の小型船舶利用者や遊漁船業者、マリーナ経営者などがメンバーとして参加していますので、水域及び水辺空間での安全を第一に活動を計画することが可能です。また、日頃からみなとみらい 21 地区近隣の水域で活動していますので、魅力的な景観ポイントなどの解説が可能であり、横浜の魅力再発見に資する活動が可能です。

収 支 予 算 書

グループ名 ハマの海を想う会

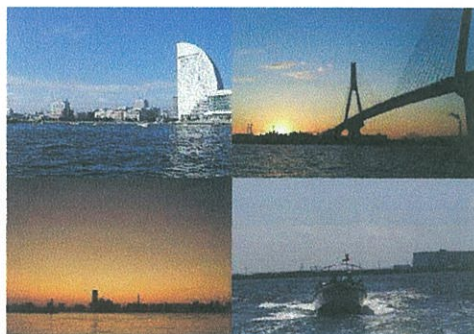
1 収入 (自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項 目	金 額	説 明 (負担者及び負担方法等)
助成金 (A)	497,200円	
参加料収入	48,000円	@2,000円×2回×12名
自己資金	76,300円	
合 計 (B)	621,500円	(B) ≥ (C)

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
会場費	10回	3,000円	30,000円	打合せ会場費
日当	120回	2,000円	240,000円	スタッフ10名×12回
棧橋利用料	7回	2,000円	14,000円	トリアル艇・3回×1艇、本番艇・2回×2艇
材料費	1回	80,000円	80,000円	パンフレット印刷費、記録媒体、コピー代など
船舶レンタル費1	3回	12,500円	37,500円	トリアル艇・3回×1艇 ※半日分
船舶レンタル費2	4回	25,000円	100,000円	本番艇・2回×2艇 ※一日分
燃料費	7回	10,000円	70,000円	トリアル艇・3回×1艇、本番艇・2回×2艇
サイト構築・運営費	1回	50,000円	50,000円	
合 計 (C)			621,500円	【Aコース】(C) ≥ (A) 【Bコース】(C) ×4/5 ≥ (A)

ハマの海を想う会 みなとみらい21 “船上カメラマン” プロジェクト



みなとみらい21の
水域・水辺空間を
船上から愛でる

スマホやデジカメで撮影
非日常体験による
横浜の魅力再発見

思い出の画像を
SNSやブログに
アップ!

©ハマの海を想う会 2013

つながる・ひろがる・楽しめる♪

「みなと」横浜の魅力再発見

みなとみらい21 “船上カメラマン” No.1 は誰の手に!?

👍 いいね!





みなとみらい21 “船上カメラマン” プロジェクト 航路例

©ハマの海を想う会 2013

もっと遊ぼう
ハマの海！



楽しく憩える美しいハマの海は、
粋な水辺の遊び人から♪

©ハマの海を想う会 2013